

リッチメディア注釈

axf:multimedia-treatment="richmedia" の指定によりマルチメディアデータをリッチメディア注釈として PDF へ埋め込むことができます。指定は `<fo:external-graphic src="video.mp4" contenttype="video/mp4" axf:multimedia-treatment="richmedia">` のように行います。axf:multimedia-treatment="richmedia-windowed" 指定では別ウィンドウで表示、再生されます。リッチメディア注釈では再生のために外部プレイヤーなどを必要としません。axf:multimedia-treatment="auto" などによるマルチメディア埋め込みとはサポートしているデータ形式、有効なプロパティなど異なります。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:multimedia-treatment](#)」をご参照ください。リッチメディア注釈は AH Formatter V6.5 から利用いただけます。なお、取り扱いは PDF1.7 以降で有効です。

axf:multimedia-treatment="richmedia"



axf:multimedia-treatment="richmedia-windowed"



axf:media-skin-control="all"、axf:media-skin-color="red"、axf:media-skin-auto-hide="false"

リッチメディアの再生、停止などが表示されるスキンは axf:media-skin-control（スキンのコントロール）、axf:media-skin-color（スキンの色）、axf:media-skin-auto-hide（スキンを自動的に隠すかどうか）など指定できます。



axf:media-activation

axf:media-activation はリッチメディアを有効無効にするタイミングを指定します。指定できる値など詳細は「[axf:media-activation](#)」をご覧ください。次のサンプルは PageOpen（コンテンツが含まれるページを開いたときに有効）と PageClose（コンテンツが含まれるページを閉じたときに無効）を組み合わせたサンプルです。

axf:media-activation="PageOpen PageClose"

